

## 製品安全データシート

## 【1. 製品及び会社情報】

製品名 : ソフティ ハンドクリーン手指消毒液  
 会社名 : 花王株式会社  
 住所 : (〒131-8501)東京都墨田区文花2-1-3  
 担当部門 :  
 電話番号 : 03-5630-7141  
 FAX番号 : 03-5630-7130  
 緊急連絡先 : 03-5630-7141

## 【2. 組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別 : 混合物  
 官報公示整理番号(化審法) : 無し  
 官報公示整理番号(安衛法) : 有り  
 成分及び含有量 :

成分	含有量(%)	CAS 番号
エタノール	非公開	非公開
N-(テトラデシロキシヒドロキシプロピル)-N-ヒドロキシエチルデカナミド	非公開	非公開
グリセリン	非公開	非公開
ポリエチレングリコール	非公開	非公開
中鎖脂肪酸トリグリセリド	非公開	非公開
水	非公開	非公開

危険有害成分 : 該当しない

## 【3. 危険有害性の要約】

最重要危険有害性 : 引火性  
 有害性 : 眼を刺激するかもしれない。  
 環境影響 : 特記すべき事項はない。  
 物理的及び化学的危険性 : 引火性がある。  
 熱、火花及び火炎で着火することがある。  
 分類の名称 : 引火性液体  
 (分類基準は日本方式)

## 【4. 応急措置】

吸入した場合 : 気分が悪くなった時は、使用を中止する。  
 異常が残る場合は、医師の診断を受ける。  
 皮膚に付着した場合 : 特記すべき事項はない。  
 目に入った場合 : すぐに水又はぬるま湯で洗う。なお、症状が重い場合は、眼科医の診療を受ける。  
 飲み込んだ場合 : 吐かずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。

## 【5. 火災時の措置】

消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水  
 使ってはならない消火剤 : 情報無し  
 火災時の特定危険有害性 : 情報無し  
 特定の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。  
 消火を行なう者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

## 【6. 漏出時の措置】

- 人体に対する注意事項 : 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。  
多量の場合、人を安全に待避させる。  
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
- 除去方法 : 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、  
残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。  
多量の場合、周囲への流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。  
火花を発生しない安全な用具を使用する。

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

## 取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。
- 注意事項 : 火気厳禁。
- 安全取扱い注意事項 : 換気を十分行う。  
保護眼鏡、保護手袋等の適切な保護具を状況に応じ着用する。

## 保管

- 適切な保管条件 : 密栓した容器に保管する。  
直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。  
火気厳禁。
- 安全な容器包装材料 : 情報無し

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄ができる設備を設置する。  
適切な排気換気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 :
- 日本産業衛生学会 : 設定されていない
- ACGIH : TWA ー, STEL 1000 ppm  
エタノール

## 保護具

- 呼吸器用の保護具 : 状況に応じ着用
- 手の保護具 : 状況に応じ着用
- 目の保護具 : 状況に応じ着用
- 皮膚及び身体の保護具 : 状況に応じ着用
- 適切な衛生対策 : 情報無し

## 【9. 物理的及び化学的性質】

## 物理的状态

- 形状 : 液体
- 色 : 無色透明
- 臭い : エタノール臭
- pH : データ無し
- 物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲
- 融点（流動点） : データ無し
- 沸点 : データ無し

分解温度	: データ無し
引火点	: 19.8 °C ( タグ密閉式測定器 )
発火点	: データ無し
爆発特性	
爆発限界	: 上限 : データ無し 下限 : データ無し
蒸気圧	: データ無し
蒸気密度	: データ無し
密度	: 0.864 g/mL ( 15 °C ) 0.860 g/mL ( 20 °C ) 0.856 g/mL ( 25 °C )
溶解性	
水溶解性	: 一部の成分が不溶
溶媒溶解性	: エタノールに溶解
オクタノール/水分配係数	: データ無し
その他のデータ	: データ無し

## 【10. 安定性及び反応性】

安定性	: 通常の使用では安定。 高温での保管を避けること。
反応性	: 自己反応性はない。 強酸化剤と反応する。 引火性のガス/蒸気が発生することがある。
避けるべき条件	: 強酸との接触を避ける。 60°C以上の加熱は避ける。
避けるべき材料	: 情報無し
危険有害な分解生成物	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【11. 有害性情報】

急性毒性	: 情報無し
局所効果 (皮膚、目など)	
皮膚腐食性	: 情報無し
皮膚刺激性	: 情報無し
目刺激性	: 情報無し
感作性	: 情報無し
慢性毒性・長期毒性	: 情報無し
がん原性	: 情報無し
IARC	: 設定されていない
NTP	: 設定されていない
EU	: 設定されていない
日本産業衛生学会	: 設定されていない
変異原性	: 情報無し
催奇形性	: 情報無し
生殖毒性	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【12. 環境影響情報】

移動性	: 情報無し
残留性/分解性	: 情報無し
生態毒性	
生態蓄積性	: 情報無し
水棲生物毒性	: 情報無し
その他	: 情報無し

## 【13. 廃棄上の注意】

”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。  
産業廃棄物処理業者に委託する。  
水質汚濁防止法などの関連法規に適合するよう廃棄する。  
焼却に際しては引火性物質を含むので注意して行う。  
空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 【14. 輸送上の注意】

国内法規則	: 陸上輸送: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。 海上輸送: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。 航空輸送: 航空法に定められている運送方法に従う。
国際法規則	: 航空輸送はIATA及び海上輸送はIMDGの規則に従う。
国連分類・国連番号	: Class 3 / UN1993
IATA	: Proper Shipping Name Flammable liquid, n.o.s. (Ethanol mixture) Class 3 UN Number UN1993 Packing Group II
IMDG	: Proper Shipping Name Flammable liquid, n.o.s. (Ethanol mixture) Class 3 UN Number UN1993 Packing Group II Additional information Not applicable
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”漏出時の処置: 漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実にを行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 火気厳禁。 緊急時応急措置指針番号: 127

## 【15. 適用法令】

国内適用法令	: 化学物質排出把握管理促進法: 該当しない 労働安全衛生法: 法第57条、施行令第18条名称等を表示すべき危険物及び有害物 エタノール 労働安全衛生法: 施行令別表1-4、危険物・引火性の物 労働安全衛生法: 法第57条の2、施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール(70-80%) 毒物及び劇物取締法: 該当しない 火薬類取締法: 該当しない 高圧ガス保安法: 該当しない 消防法: 法第2条第7項危険物別表第1第4類引火性液体、アルコール類(400L)、危険等級II 化審法: 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない 船舶安全法: 危規則第3条危険物告示別表第1引火性液体類 航空法: 施行規則第194条危険物告示引火性液体
物質登録情報	: ENCS (Japan) 無し TSCA (USA) 無し REACH (EU) 無し

## 【16. その他】

## 問い合わせ先

会社名 : 花王株式会社  
住所 : (〒131-8501)東京都墨田区文花2-1-3  
担当部門 :  
電話番号 : 03-5630-7141  
FAX番号 : 03-5630-7130  
緊急連絡先 : 03-5630-7141

引用文献 :  
・ 化学物質等安全データシート (MSDS) - 第1部: 内容及び項目の順序 (JIS Z 7250)  
・ 国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年  
・ 製品安全データシートの作成指針 (改訂版)、厚生労働省医薬局審査管理課化学物質安全対策室・厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質調査課・経済産業省製造産業局化学物質管理課・環境省環境保健部環境安全課監修、(社)日本化学工業協会・日本レスポンシブル・ケア協議会、平成13年10月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡お願いいたします。